

レ ト ロ  
ぎふ 歴 都 路 た び

歴史的建築物ガイドブック



# 岐阜県の歴史的建築物をめぐるレトロ旅

関ヶ原の戦いをはじめ歴史上の大きな舞台ともなった岐阜県。  
歴史の変遷とともに姿を変えてきた建築や町並みからは、  
生活、文化、時代の移り変わりを見ることができる。

岐阜県には多様な気候風土があり、地域毎に様々な生活・文化などが生まれた。  
これらは、中山道などの街道をはじめとした交通の発達とともに、  
相互交流や新文化の導入が行われ、現在の姿へと形を変えていった。

本冊子では、歴(レ)・都(ト)・路(ロ)をテーマに  
今なお残る歴史的建築物や町並みを一冊のガイドブックとしてまとめました。

# もくじ

## 歴

3-4 | 建物・町並から見る歴史と生活・文化

## 都

5-8 | **県都** 政治・経済・文化の中心を担ってきた建物

9-12 | **水都** 水とともに歩んできた建物

13-14 | **陶都** 地場産業を守り受け継いできた建物

15-16 | **舞都** 地元の人々の力で築き、継承されている劇場建築

17-18 | **古都** 独自の文化・技を堪能することができる建物

## 路

19-22 | 旧街道沿いに建つ歴史的建築物

23-26 | マップ／アクセス

# 歴

## 建物・町並から見る 歴史と生活・文化

歴史とともに大きく生活・文化も変わる。岐阜県内に残る歴史的建築物・町並みから当時の生活・文化、時代の変化がうかがえる。

●**城郭と城下町** 安土桃山から江戸にかけて、岐阜県内にも城郭を中心とした城下町がいくつも整備され、現在の町並みの基礎が形成された。



岐阜城復興天守閣



再建された大垣城



日本最古の木造再建城  
(郡上八幡城)



斎藤道三が金華山に城を築き、城下の井ノ口の町を整備。その後、織田信長により井ノ口から岐阜に改名され、楽市楽座を設け、城下町には人や物が集まり大いに賑わった。大工町、材木町、米屋町、竹谷町などの町名が残る。



大垣は江戸時代に入ると戸田氏の城下町、美濃路の宿場町として繁栄した。南流する水門川の水運を中心に、昭和初期まで物資や人の流れで東西文化の接点として賑わっていたと言われる。船町、清水町など水の都の町名が残る。



遠藤氏が八幡山に城を構えて以来、城下町として発展。職人町・鍛冶屋町・柳町などの郡上市北町一帯の古い町並みは重要伝統的建造物保存地区にも指定。城下防災などを目的に築造された水路が町中に張り巡らされている。

### ●御役所

幕藩体制が成立すると城郭の他に石高が小さな大名領や直轄領などには陣屋が置かれた。陣屋は城郭に比べて簡略化されており、行政・居住の機能しか持ち合わせていないものが多い。



高山陣屋 1600年前後建設  
国指定史跡

全国に唯一現存する郡代・代官所。建物の屋根は全て板葺。飛騨地方は豪雪地帯で当時の瓦では損耗が激しいことから地元で入手可能な木材が使われた。明治以降も様々な役所として使用された。

### ●街道沿いの建物

江戸時代に入ると五街道を中心に街道が整備される。街道には宿場町が発達し、本陣、脇本陣、旅籠などの宿泊施設や継ぎ送り業務を行う問屋場など不可欠な施設が整っていった。

#### 宿場町



落合宿本陣 路 1818年  
国指定史跡

本陣・脇本陣は江戸時代に公家や大名などが利用した宿舎。落合宿本陣は明治天皇巡幸の際の小休所となったことでも知られている。

## 桃安 山土

1573年

領主の居城を中心とした城下町が整備される。それぞれの城下町は路や川により賑わい、町並みを形成した。

## 江戸

1603年

幕藩体制が成立。参勤交代で交通が発展し、街道が整備される。城下町は次第に町民の町となっていく。

●1600 関ヶ原の戦い

●1601~1608  
中山道整備

●江戸時代初期~輪中の形成  
長良川・揖斐川地域

## ●庶民文化

江戸から明治にかけて造られた劇場建築や寺院建築が残されている。この時代の庶民の娯楽や信仰などの文化を感じることができる。

## 劇場建築（農村舞台）



**鳳凰座 舞都 1827年移築**  
下呂市指定有形民俗文化財

江戸時代には、様々な地域において神社境内などで農村舞台が行われ、住民たちにより必要な施設も整備された。

## 寺院建築



**正法寺 県都 1832年**  
岐阜市指定文化財

幕府により寺請制度が確立され、庶民のための菩提寺が多く存在した。

## ●民家建築

民家は農家や商家などの庶民の住まい。地域の気候風土や産業を活かすような工夫が重ねられており、建物から当時の生活がうかがえる。

## ○商家建築

整備された城下町や宿場には様々な商家が建てられる。表通りに面して建つ商家は、職住を伴う併用住宅の形式が多い。

## 商家



**小坂酒造場 1772年**  
国指定重要文化財

街道沿いをはじめ広く、防火壁として「うだつ」があげられた。「うだつ」は同時に、商人の権威の象徴とされた。



**桑原邸 江戸後期**  
岐阜城下、川原町に建つ江戸時代から続く材木商。町家としては間口が広く、間取りなどから往時の暮らし向きがうかがえる。

## ○農家建築

地域の気候風土や災害に対して固有の工夫が見られる。生活を支える農業や産業が建物からもうかがえる。

## 水屋建築の民家



**水屋建築の臼井医院 水都**  
水害の多い地域では輪中が形成される。敷地には水屋が建てられ水害に備えた様々な工夫が住宅にも施された。

## 合掌造りの民家



**合掌造り集落（白川郷） 古都**  
ユネスコ世界遺産  
豪雪地域に建てられた民家。勾配の急な茅葺きの屋根を特徴とし、産業や厳しい気候への様々な工夫が施されている。

## ●西洋風建築

明治には大工棟梁による擬洋風建築や、日本において建築学の高等教育を受け西洋の技術・装飾を修得した日本人建築家による西洋風建築が建てられた。



**名和記念昆虫館 県都 1907年**  
岐阜市指定文化財

東京帝国大学建築学科を卒業後、ヨーロッパ留学した建築家の武田五一の設計。西洋の技術・装飾が使われた。



**旧日下部合資会社 県都 1913年**  
明治から大正時代の洋風建築。この時代の技術・様式などがうかがえる数少ない建物。

## ●現代建築

大震災から得た教訓を元に新たな耐震構造技術への関心が高まる。また、地元出身者をはじめ建築家による建物が建てられるようになる。



**旧岐阜県庁舎 県都 1924年**  
耐震に配慮した鉄筋コンクリート造黎明期の庁舎建築。



**羽島市庁舎 県都 1959年**  
日本建築学会賞  
設計はル・コルビジェに師事した羽島市出身の建築家・坂倉準三。他にも県内に設計作品がある。

庶民文化の栄えた時代。建築でも世俗化の傾向が顕著に見られる。

明治

1868年

文明開化とともに  
建築でも西洋化が進む。

大正

1912年

●1923 関東大震災  
耐震への関心が高まる

昭和

1926年

# 都

## 県 都

政治・経済・文化の  
中心を担ってきた建物

古くから美濃国の中心であり、中世の城下町以降は長良川や中山道をはじめとした街道を利用し、政治・経済・文化の中心として栄えた。近代に入り県庁が置かれるとともに、鉄道・道路などの交通網も整備され、県の重要な役割をはたしている。

### I. 近代から現代に続く岐阜県の政治・経済・文化の中心

明治4年の廃藩置県により岐阜県が誕生。その後、現在の岐阜市司町に旧県庁舎が置かれると政治・経済・文化の中心として、周辺には西洋様式の様々な近代建築物が建てられた。



▲映画やドラマにもたびたび登場する豪壮な吹き抜け階段

#### ① 旧岐阜県庁舎

岐阜市司町1番地1 / 岐阜市役所より徒歩約6分

鉄筋コンクリート造黎明期の庁舎建築

大正13年10月15日に完成。

外壁に華美な装飾はないが、ファサードは古典主義建築の意匠となっている。玄関ホールは県産の大理石を使い豪壮な空間となり、美しいステンドグラスも現存する。建築顧問として建築構造学者の佐野利器や県出身の矢橋賢吉が関わっている。(内覧不可)

#### ② 旧日下部合資会社

岐阜市米屋町24 / 岐阜市役所より徒歩約20分

海運王が建てた大正の洋風事務所建築

岐阜市内に唯一残る明治から大正にかけて建てられたレンガ造、洋風の事務所建築。外観は、マンサード屋根、玄関の大理石立柱など、内部には、ステンドグラスや中国製のタイルなどが現存する。(内覧不可)



▲館内には多くのステンドグラスが現存している。



◀石細工の飾り



#### ③ じゅうろくてつめいギャラリー

岐阜市徹明通1-3 / JR「岐阜駅」より徒歩約20分

昭和初期の古典的な銀行建築

建物の正面は重厚かつ古典的な意匠で、飾り金物、石細工なども施されている。内部はレトロな開放感ある空間が広がる。現在は地域の方々のために文化活動発表の場として活用されている。

◆**岐阜県ゆかりの建築家 武田 五一**  
ヨーロッパ留学経験もあり、アール・ヌーボーなどを日本にもたらした。岐阜で暮らしたこともあり、学校で教鞭をとっていた名和靖との接点もある。現存しないが旧加納町役場なども手掛けている。

◆**岐阜県出身の建築家 坂倉 準三**  
羽島市出身。留学先のパリ工業大学で学び、近代建築の巨匠ル・コルビジエに師事。代表作には、パリ万博・日本館などがあり、県内では岐阜市民会館、羽島市勤労青少年ホームなどがある。

はしまし きんろう  
7 **羽島市勤労  
青少年ホーム**

羽島市竹鼻町86番地／  
名鉄羽島線「羽島市役所前」  
より徒歩約6分



## 博物館



## 昆虫館



▲再利用した丸柱  
「ほぞ穴」がそのまま残っている。



▲蝶が刻まれた棟飾り

## 足をのばして…

はしま しちょうしゃ  
6 **羽島市庁舎** 日本建築学会賞

羽島市竹鼻町55番地／  
名鉄羽島線「羽島市役所前」より徒歩約6分

ル・コルビジエの弟子である坂倉準三の設計◆  
屋根形状、2階からのアプローチ、建物周囲の池など先駆的な建築計画であり、日本建築学会賞を受賞。外観は、コンクリート打放し・白と褐色のタイルのコントラストが印象的。

なわこんちゅうはくぶつかん きねんこんちゅうかん

4 **名和昆虫博物館 / 記念昆虫館**

名和昆虫博物館 / 国登録有形文化財  
記念昆虫館 / 岐阜市指定文化財  
岐阜市大宮町2-18 岐阜公園内 /  
岐阜市役所より徒歩約30分

「関西建築界の父」とも言われる

武田五一の設計◆

博物館は、切妻屋根のレンガ造、入り口にはギリシャ神殿風の玄関がある。柱の一部は、奈良唐招提寺のシロアリ被害を受けた柱を再利用したものが使われている。

昆虫館は、黄褐色のレンガ組みの上に、木造トラス屋根の洋風建築。赤い屋根の出窓や蝶が刻まれた棟飾りも見所。



ぎふ しれきし はくぶつかん

5 **岐阜市歴史博物館**

中部建築賞  
岐阜市大宮町 2-18-1 岐阜公園内 /  
岐阜市役所より徒歩約30分

外観は、美しく割り付けされた外壁の御影石により重厚な造りとなっている。

## II. 経済・文化が賑わった中世・近世の町並や建物

中世・近世には、土岐氏・斎藤氏・織田氏などがこの地を治め、織田氏の時代には、「楽市楽座」により経済・文化も賑わった。他の地域から多くの商人や工匠等が移住し、材木町、大工町、鍛冶屋町、魚町、米屋町などがつくられ長良川の水運を利用し発展し、今も町家や蔵などが残る。また、城下町には、多くの寺社仏閣が設置され、それにともない庶民文化も発達した場所である。



▲平入りで長押が特徴の町家が並ぶ



▲堤外からみえる蔵

### 8 かわらまち まちなみ 川原町の町並 岐阜市湊町、玉井町、元浜町

#### 岐阜城下にある古い町家や蔵が並ぶ町並

斎藤道三により整備され、江戸中期に現在の規模に形成された。

長良川から船で美濃和紙や材木を水揚げし、川岸に平入りの形で商家が立ち並んでいた。

建物形状は、狭い間口に奥行きが長い町家特有のものが多く、現在もその名残を見ることができる。建物には、一階に太格子を使用し、二階部分の格子戸は上下框まで通っているものが多い。現在は、鵜飼観覧船のりばからも近く、伝統工芸品「岐阜うちわ」の店舗や和菓子店などとして利用され、古い町並みを形成している。







▲大仏殿



▲岐阜大仏(通称かご大仏)

しょうぼうじ  
9 正法寺

岐阜市指定文化財  
岐阜市大仏町8/  
岐阜市役所より徒歩約30分

人々の平安を願う岐阜大仏

江戸時代に建てられた本堂は中国風の堅牢な建物。濃尾地震にも耐えたと伝えられている。建物内には、日本三大仏である乾漆仏がある。大イチョウを直柱として、骨格は木材で組み外部は竹で編んで形成、表面は粘土と美濃和紙に書かれた経典、漆、金箔で仕上げられている。



おかもとてい  
10 岡本邸

岐阜市景観重要建造物  
岐阜市金屋町1丁目10  
岐阜市役所より徒歩約5分

今に残る  
江戸期の町家建築

旧御鯰街道に建つ江戸時代末期の鑄造所を営んでいた町家建築。屋根の両端に上がった「うだつ」や土蔵など往時の建物の姿を今に伝える。道路沿いに置かれた吊鐘が目印。



▲沿道に並ぶ蔵

ますやまちどお  
11 益屋町通り

岐阜市益屋町、今町、上大久保町、中大桑町  
岐阜城下町の主要道路  
益屋町には御鯰所跡があり、沿道には今も多くの町家や蔵、寺院が残っている。



いなばじんじゃさんどう まちなみ  
12 伊奈波神社参道の町並

岐阜市伊奈波通り1-1/  
岐阜市役所より徒歩約20分

商人町として賑わった門前町

斎藤道三が金華山から伊奈波神社を移築・遷座してできた門前町。江戸時代、門前では、操り芝居や歌舞伎・見世物などが演じられ、楊弓場・茶屋があったという。今も神社が多く残り、商家建築も点在する。



▲伊奈波神社



おすしかいどう まちなみ  
13 御鯰街道の町並

岐阜町から加納宿を通り笠松陣屋のある笠松湊へ

◀岐阜市米屋町

老舗料亭が並ぶ町並

幕府へ長良・小瀬鵜飼いの鮎鮓を献上するため岐阜町から笠松町まで運んだ道を御鯰街道と言う。街道沿いには、明治を代表する実業家・原三溪の芸術家としての顔も伺える水琴亭や老舗の料亭が現存する。

# 都

## 水都

水とともに歩んできた建物

この地域は、城下町大垣をはじめ、川による水運や豊富な地下水を利用した産業など、水による大きな恩恵を受けてきた。一方、たびたび洪水に見舞われ、水害とともに生きてきた地域でもある。

### I. 水運交易により賑わった港跡のなごり

城下町大垣周辺は、揖斐川や水門川、杭瀬川など多くの川が流れ、河川を利用した水運交易が発達し、各湊付近には、商家・蔵・船宿・旅籠が立ち並び賑わいをみせていた。

すいもんがわ かわみなと ふなまちみなとあと

#### ① 水門川の川湊・船町港跡 国名勝

大垣市船町1・2丁目/JR「大垣駅」より徒歩約20分

##### 大垣の繁栄を支えた川湊

江戸時代、大垣城下の水門川にある船町港は水門川から揖斐川を経て、桑名へ至る重要な川湊で輸送や交通手段として大きな役割を果たしてきた。

明治時代から昭和26年頃までは蒸気船の定期運航があり、たいそう賑わっていたという。住吉燈台は江戸時代後半に建てられた県史跡。



くいせがわ かわみなと あかさかみなとあと

#### ② 杭瀬川の川湊・赤坂港跡

大垣市景観遺産(風景資産)

大垣市赤坂町2939/JR「美濃赤坂駅」より徒歩約10分

##### 運送として賑わった川湊

杭瀬川の川湊の赤坂港は、諸物資の輸送などに利用され、明治時代に入り金生山の石灰産業の発達により最盛期となる。

赤坂港跡は、現在は公園として整備されている。資料館として建つ赤坂港会館は、明治に建てられた警察屯所を復元したもの。



▲擬洋風建築の赤坂港会館

### II. 豊かな水に育まれた産業

この地域は、豊富な地下水に恵まれ、東西文化の接点として栄えた。

水の恩恵をうけ、江戸時代より続くお菓子屋や酒屋、近代には多くの繊維工場などが存在した。

きんちょうえん そうほんけ ほんてん

#### ③ 金蝶園総本家 本店

大垣市高屋町1-17/JR「大垣駅」より徒歩約3分

##### 良材を用いた風格ある佇まい

寛政10年「舂屋」という屋号で店を開いたのが始まり。創業時の建物は戦災により焼失し、昭和26年に再建。正面の看板は創業当時のもの。大きな屋根の妻を見せ、柱などに良材を用いた和風木造建築物。(内覧不可)



▲木製看板は創業当時のもの



▲水門川と住吉燈台



#### 4 つちやほんてん 槌谷本店

大垣市儀町39/  
JR「大垣駅」より徒歩約20分



▲英国製のレンガが埋められた白い防火壁



◀明治時代のローマ字で「KAKIYOKAN」と書かれている看板

#### レンガのうだつ風防火壁

菓子司・槌谷の店舗として、濃尾地震直後に建てられた。工場からの出火を考え英国製のレンガで防火壁を設置。戦災の際、焼失を免れたという。(内覧不可)



▲石積の上に建つ酒蔵

#### 5 みわしゅぞうさくら 三輪酒造酒蔵

北蔵・南蔵 / 国登録有形文化財  
大垣市船町4丁目48 / JR「大垣駅」より徒歩約25分

#### 震災や戦災にも耐えた木造の醸造土蔵建築

美濃路に面した店舗から裏に回ると2棟の酒蔵が建つ。

明治20年と21年に建築され、北蔵は2階建て、南蔵は3階建てになっている。水害に備え、石積の上に築かれている。(内覧不可)



#### 6 さんごう 三甲テキスタイル(株)

大垣市室村町3丁目74番地1/  
JR「大垣駅」より徒歩約20分

#### 旧鐘紡の赤レンガ倉庫と事務所

大正3年に建築。

近代に入り大垣は豊富な地下水と水力

発電所により多くの繊維工場が建設されたが、現存するものは少ない。赤レンガ倉庫と事務所には、大正期の様式が軒先や玄関などに多くみられ、貴重な近代遺産。(内覧不可)



▲事務所玄関の金物裝飾



▲妻面軒先には蛇腹のデザインや窓飾り

歴

都

県都

水都

陶都

舞都

古都

路

### Ⅲ. 水郷地帯と住まい



#### 輪中の歴史

古くから木曾三川に囲まれた海拔の低いこの地域は、水害に苦しんできたが、自普請により集落を堤で囲んだ「輪中」が発達してきた。近年では治水事業により数は減ったが、最盛期には、

80以上存在したと言われる。

◀堤防に表示される水位の高さ



#### 水屋

浸水避けるため母屋とは別に石垣や土盛りの上など、高い場所に作った建物。全ての家庭にあるわけではなく、平常時には倉庫として扱われ、洪水の際には住居としても利用。



◀白井医院

#### 7 大垣市釜笛の水屋群

国の文化的景観重要地域 養老線「友江駅」より徒歩約15分  
田園と輪中集落との複合景観

釜笛地区は、国の文化的景観重要地域。水屋は、この地区の田園景観の重要な構成要素の一つで、白井医院（内覧不可）はその典型。

#### 8 輪中生活館(旧名和邸)

大垣市指定重要有形民俗文化財  
大垣市入方2-1723 / 養老線「友江駅」より徒歩約5分

#### 高く築いた石段の上に建つ水屋

輪中地帯の典型的な水屋建築。

明治時代に建てられた母屋と渡り廊下（どんど橋）でつながる住居式水屋。和室2間の他に便所もある。同一敷地内には、2mの石垣の上に建つ土蔵式水屋も見られる。



▲主屋と渡り廊下でつながる住居式水屋



▲土蔵式水屋

#### 9 輪中の農家

海津市海津町油島 255-3 (木曾三川公園内)  
名神高速道路「大垣IC」より車で約40分

#### 水屋を備えた農家建築

国営公園内にある明治中頃のこの地方の農家の復元。水屋は4m以上の石垣の上に建ち、母屋の玄関では上げ舟を見ることが出来る。

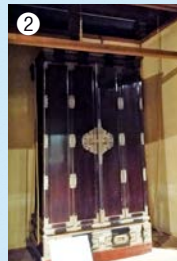


◀住居倉庫式水屋

#### 洪水に備えた生活の知恵



① 上げ舟



② 上げ仏壇

① 民家の軒下や土間には避難用の小舟「上げ舟」を吊るして備えられ、母屋の入り口近くには「舟つなぎの木」が植えられていた。

② 洪水の時に、仏壇を2階に上げるための仕組み。仏壇の上の天井は取り外すことができ、2階の梁から滑車で仏壇を持ち上げる。

## IV. 近代化を牽引した水の力

明治期より木曾三川を中心に多くの水力発電が設置された。山間にモダンなレンガ造りの近代産業建築が見られる。



### 10 イビデン(株)東横山発電所

近代化産業遺産

揖斐郡揖斐川町東横山/  
名神高速道路「大垣西 IC」より車で約50分

今も現役、緑に映える赤レンガの発電所

揖斐川水系には、豊富な水量を活かした水力発電所が数多くつくられ、西濃地方の産業の発展に大きな役割を果たしてきた。東横山発電所は、揖斐川電力株式会社(現イビデン株式会社)の第二番目の発電所として大正10年に建設された。建物・設備などは改修を繰り返し、現在も現役で稼働している。建物は建設当時の赤レンガ造りで、建設当時の面影を残している。

## ちょっと足をのばして レンガ造りの発電所

### 11 旧八百津 発電所資料館

国指定重要文化財  
加茂郡八百津町八百津  
1770番地の1/  
東海環状自動車道  
「可見御嵩 IC」より車で約30分

アーチ窓が印象的な  
白亜の発電所

木曾川水系で最初に建築された水力発電所。現在は資料館になっている。明治時代の鉄骨レンガ造りのモダンな建築。



### 12 長良川水力発電所

国登録有形文化財  
近代化産業遺産

美濃市立花字木の末 844-1-1-1-1/  
東海北陸自動車道「美濃 IC」より  
車で約15分

赤レンガづくりの発電所

この発電所は明治43年に竣工し、現在も発電している。赤レンガ造りで、円形の窓など装飾にも特徴があり、瓦葺屋根の名残である鬼瓦が見られる。  
(内覧不可)



▲妻面にあるバラ窓と鬼瓦

歴

都

県都

水都

陶都

舞都

古都

路

# 都

## 陶 都

地場産業を守り  
受け継いできた建物

この地域は地理的に古くから陶土を豊富に産出し、陶磁器産業が発展してきた。幕府の御用窯を勤めた幸兵衛窯をはじめ、現在も多くの窯元がこの地域には存在し、陶器に関わる建物や灯籠なども多く見られる。



▲連房式登窯と大窯

### 1 元屋敷陶器窯跡 国指定史跡

もとやしきとうきかまあと  
土岐市泉町久尻1246番地の1 /  
中央自動車道「土岐IC」より車で約10分

#### 美濃窯最古の連房式登窯

美濃窯最古の連房式登窯である元屋敷窯や3つの復元した大窯がある。こちらの窯で美濃桃山陶と呼ばれる瀬戸黒、黄瀬戸、志野や織部が生産された。



### 2 幸兵衛窯

こうべえがま  
多治見市市之倉町4-124 /  
中央自動車道「多治見IC」より  
車で約20分



### 3 玉山窯

ぎよくざんがま  
多治見市市之倉町10-69 /  
中央自動車道「多治見IC」より車で約20分

#### 小高い所に建つ窯元

市之倉に4代続く窯元。大正時代に移築した倉庫を改築し、蔵出しショップとして使用。太い材と天窓からの明かりが美しい。



▲石炭窯を使っていたころの煙突

#### 長い歴史を持つ窯元

幸兵衛窯は、江戸時代に開窯され幕府の御用窯を勤めた。敷地内には、穴窯や煙突、250年前の古民家を移築した資料館など窯元の施設も一部見られる。

### 4 蔵珍窯

ぞうほうがま  
多治見市太平町6-87 /  
JR「多治見駅」より徒歩約20分

#### 古民家風の窯元

昭和45年に開窯。工房兼ギャラリーは江戸時代に建てられた古民家を富山から、門は新潟から移築したもの。

門▶



母屋▶

さくらどう やくし どうろう  
5 櫻堂薬師の灯籠

瑞浪市土岐町櫻堂 /  
中央自動車道「瑞浪 IC」より車で約15分

陶器でできた灯籠

比叡山の末寺。この地域の古刹にはよく見ることができる陶器の灯籠が境内には置かれている。



たじみ ゆしゅうどう じき かんせいきょうどうくみあい  
6 多治見輸出陶磁器完成協同組合

多治見市昭和町18番地 / JR「多治見駅」より徒歩約15分

土岐川に佇む、総タイル張りの洋館

内外装に多量のタイルが使われた大正から昭和期の洋館。外壁にはスクラッチタイルが張られ、アクセントに正面玄関の柱には玉虫色のタイルが張られている。



▲総タイルの丸柱



こけいざん えいほうじ 国宝建築 永保寺 開山堂  
7 虎溪山 永保寺

永保寺 開山堂  
永保寺 観音堂

陶製灯籠 多治見市文化財  
志野・織部釉の陶製灯籠

多治見市虎溪山町1-40 / 中央自動車道「多治見 IC」より車で約10分

鎌倉末期に建てられた国宝建築

鎌倉時代に開創された虎溪山に佇む禅寺。

軒反りが目を引く檜皮葺屋根の観音堂は開山堂とともに国宝に、庭園は国の名勝に指定されている。本堂前には、高さ2.8mある志野・織部釉の陶製灯籠がある。

寄り道スポット

しんげんしゅうどうかい  
8 神言修道会  
たじみしゅうどういん  
多治見修道院

多治見市緑ヶ丘38 / 中央自動車道  
「多治見 IC」より車で約10分

モダン建築

虎溪山の麓にそびえる修道院。昭和5年、モル神父によりこの地をドイツの美しい風景に重ね合わせ建てられたと言われる。屋根と壁の色あいや規則正しく配された窓によって、落ち着いた建築となっている。大聖堂には美しいフレスコ画、壁画、ステンドグラスなどがある。



歴

都

県都

水都

陶都

舞都

古都

路

# 都

## 舞 都

地元の人々の力で築き、  
継承されている劇場建築

江戸時代から明治時代、地元の人々による地歌舞伎が盛んに行われ受け継がれてきた。現在も地歌舞伎の団体数は全国一をほこり、舞台小屋も数多く残り、今もその姿を見ることができる。



### 1 ほうおうざ 舞台・襖絵 鳳凰座 下呂市指定有形民俗文化財

下呂市御殿野／中央自動車道「中津川IC」より車で約50分

#### 鳳凰が翼を広げたような客席をもつ舞台

鳳凰座舞台は、もとは日枝神社の境内にあり観客席も無く、屋根も舞台のみに付けられた風雨をしのげる程度の小さなものであった。江戸時代現在の地に移され明治16年には観覧席が増築された。4本の小屋梁を合わせた8本の原木のほとんどは3キロ余り上流の山間から区民総掛かりで切り出し運んだもの。昭和、平成と改修工事が行われた。客席は鳳凰が翼を広げたように階段状に広がり、奥からも見やすい構造になっている。



### 2 かどわさ ぶたい はくうざ 門和佐の舞台「白雲座」

白雲座の舞台 国指定重要有形民俗文化財

下呂市門和佐3322／

中央自動車道「中津川IC」より車で約1時間15分

#### 総檜造りの芝居小屋、柱・梁は太材で圧倒される

江戸時代には露天観客型の舞台だったが、現在の形が明治23年に完成したと思われる。白山神社の境内に建てられた総檜造りの典型的な劇場型芝居小屋。国文化財の農村舞台としては日本一小規模と言われる。舞台には、珍しい直径が5.4mのコマ回し式の「回り舞台」が設置されている。

▶太材を使った舞台



### 3 ときわさ 常盤座

中津川市指定有形文化財

中津川市高山1025-4／

中央自動車道「中津川IC」より車で約30分

#### 正面入母屋、妻入形式の芝居小屋

江戸時代末期より常盤神社の境内で地歌舞伎が上演されていたが、明治24年に住民の寄付により芝居小屋が建てられた。戦時には倉庫として使用されたこともあったが、改修が加えられ現在も芝居小屋として使用されている。2階建て正面入母屋、妻入の芝居小屋は全国でも珍しい。





## 4 かしも のうそんぶたい めいじざ 加子母の農村舞台「明治座」

岐阜県指定重要有形民俗文化財

中津川市加子母4793-2

中央自動車道「中津川IC」より車で約45分

### 樽葺き石置屋根の芝居小屋

明治27年、村の有志により現在の下郷神社の脇に建てられた劇場型の農村舞台。屋根はクリとサワラの木をうすく削りとり、8万5千枚もの樽板で葺かれている。内部は樹齢約400年と言われる長さ8間以上もある巨木のモミを梁に使用し堅固に組み上げられている。



▲杉の枝でつくられた看板



▼力強い小屋組



## 5 かかみ ぶたい むらくにざ 各務の舞台「村国座」

国指定重要有形民俗文化財

各務原市各務おがせ町3-46-1 / 名鉄「芋ヶ瀬駅」より徒歩約30分

### 虚飾を廃した素朴で力強い造りの建築

大庄屋が発起し村民が一丸となり明治10年頃に完成。濃尾地震や伊勢湾台風にも耐え使用され、平成21年に大改修を行っている。水平方向に連続する無双窓と高窓格子が印象的。客席からは大屋根を支える力強い小屋組が見られる。

## 6 まくわ にんぎょうぶたい 真桑の人形舞台

国指定重要有形民俗文化財

本巣市上真桑本郷 /

樽見鉄道「北方真桑駅」より徒歩約30分

### 珍しい操人形浄瑠璃の舞台 野外客席▶

明治初年頃、物部神社境内に建てられた人形舞台。全国でも珍しい操人形浄瑠璃を上演する専用の舞台で演出機能も備えている。客席は舞台前の野外となっている。



歴

都

県都

水都

陶都

舞都

古都

路

# 都

## 古都

独自の文化・技を  
堪能することができる建物

律令時代、税の代わりに木工職人が派遣され、都づくりに飛騨の建築技術が生かされていた。このような人々を総称して「飛騨の匠」と呼んだ。飛騨地域には、この技術を受け継いだ人々が手掛けた建物が多く残る。

### 1 高山の古い町並

三町伝統的建造物群保存地区  
下二之町大新町伝統的建造物群  
保存地区/JR[高山駅]より徒歩約15分

#### 二つの重要伝統的 建造物群保存地区

戦国時代、城主の金森氏  
により京都に倣い碁盤目状

に城下町が整備された。商人町であった三町や下二之町大新町は  
勾配のゆるい屋根の町家が並び重要伝統的建造物群保存地区に指  
定されている。町家には出格子や胡粉塗の腕木等特徴的な造りが見ら  
れる。江戸期には規制があり、そのころのものは軒高が低く、時代により  
軒高が異なっている。



▲昔ながらの高山の町家

### 2 洲さき

高山市指定文化財  
高山市神明町4-14/  
JR[高山駅]より徒歩15分

#### 岐阜県で最も古い 江戸期創業の料亭

出格子の表構え、勇壮な  
吹き抜けや伝統的な軸組工法による建築様式は創業当時のもの。



### 3 日下部民藝館 国指定重要文化財

高山市大新町1-52/JR[高山駅]より徒歩約20分

#### 高山の町家建築を代表する豪商

江戸幕府の御用商人として繁栄した商家。  
焼失後、明治12年に飛騨の名工・川  
尻治助により再建。正面表構の出格子、  
窓切り、木部の仕上げなど当時の高山の  
町家の特色を留めている。



### 4 安国寺(経蔵) 国宝

高山市国府町西門前474/[飛騨清見IC]より車で約30分

#### 素木造りで簡素な意匠の禅宗様建築

室町時代に建築された禅宗様建築。  
経蔵内の輪蔵は回転式として日本最古。



▲内部の梁の様子

#### 高山の屋台蔵



ふるかわ ふる まちなみ

## 5 古川の古い町並

飛騨市古川町壺之町／JR「飛騨古川駅」より徒歩約5分

## 伝統的様式を引き継いでいる町並

元は高山と同じ金森氏によりつくられた城下町。中心部は整備され白壁土蔵が続き、鯉の泳ぐ瀬戸川が印象的。その他、古い町並みも残り町家には出格子や雲と言われる軒下の装飾などを見ることができる。



▲瀬戸川と白壁土蔵



▲古い商店が並ぶ壺之町



しらかわごう

## 6 白川郷 ユネスコ世界遺産

大野郡白川村荻町 伝統的建造物群保存地区／  
東海北陸自動車道「白川郷IC」より車で約5分

## 合掌造りの集落群

屋根は切妻造茅葺、急勾配の合掌造り。集落全体が良好に保存され、ユネスコの世界遺産に登録されている。屋根裏では主に養蚕を営んでいた。豪雪地特有の工夫も多く、囲炉裏から暖を取るための2階以上の床の隙間、宅地内の融雪用の池や石組み水路、周囲の防風林などがある。

## 屋台蔵

岐阜県を代表する祭りである高山祭・古川祭の屋台を収納する蔵がそれぞれの町に存在する。湿気からの保存や火災対策のため土蔵で造られた。古川の屋台蔵は、同じく漆喰塗の防火壁があり、「台紋」と呼ばれる屋台組の紋が見られる。高山の屋台蔵の前庭両脇には、防火壁が整備されている。

## 古川の屋台蔵



## 飛騨の匠 「雲」

飛騨大工は、自分が手掛けた建物の軒下に「雲」という装飾を施す。飛騨の家々の軒には様々な形の「雲」が見られる。



# 路

## 旧街道沿いに建つ 歴史的建築物

岐阜県内には、江戸と京都を結ぶ中山道を中心いくつかの街道が存在し経済・文化などの交流が生まれ発展していった。これら街道沿いには旧宿場町の町並みをはじめ、今も往時の面影が残されている。



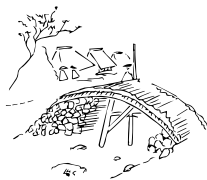
### ● 今須宿問屋場山崎家

不破郡関ヶ原町今須3447/  
名神高速道路「関ヶ原IC」より車で約10分

宿場の中心的施設で、各宿場に備え付けられた人馬の継立などの業務を行う問屋場。縁起物の永楽通宝の軒丸瓦や広い庭が現存する。



▲永楽通宝の丸瓦



### ● 旅籠亀丸屋

不破郡垂井町1199/  
JR「垂井駅」より徒歩約10分

垂井宿の有事に備えた枡形位置にある現役の旅籠。2階の虫籠窓や火災に備えた軒下の濡簾掛けが現存する。



### ● 矢橋家住宅 国登録有形文化財

大垣市赤坂町226/  
JR「美濃赤坂駅」より徒歩約10分

街道に北面する平入の大きな町家。2階の軒裏や袖壁を黒漆喰塗が施され、正面は千本格子がはめられている。



▲千本格子の2階窓

### トピック (赤坂宿)

#### ● 増田家住宅(お嫁入り普請探訪館)

大垣市赤坂町3390-2/  
JR「美濃赤坂駅」より徒歩約10分

「お嫁入り普請」とは、皇女和宮が降嫁した際、見栄えをよくするため街道側だけ2階建てに見せたもの。



### 谷汲道

赤坂宿

美江寺宿

揖斐川

今須宿

関ヶ原宿

垂井宿

### 美濃路

徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利した後、凱旋した「吉例街道」として知られ、将軍の上洛に使われた重要路。

大垣

墨俣

### ● 美濃路墨俣宿脇本陣跡(安藤家)

大垣市墨俣町墨俣115/  
名神高速道路「大垣IC」より車で約20分  
美濃路墨俣宿にあった脇本陣跡に建つ民家。現在は隣接する本正寺に山門が残るのみ。近くには寺院が多く現存する。



←京都

## ● 加納宿

JR「岐阜駅」より徒歩約20分

加納宿は美濃で最大の宿場町。商工業が栄え東西の人や物の往来で賑わった。蔵など往時の建物が点在する。



## ● おもだかや民藝館

郡上市八幡町新町929 /

長良川鉄道「郡上八幡駅」より徒歩約15分

八幡町の町中を流れる「やなか水のみち」沿いに建つ明治初期の格子造りの建物。鮎画家水野柳人の生家。

## トピック（郡上）

### ● 郡上八幡旧庁舎記念館 国登録有形文化財

郡上市八幡町島谷520-1 / 長良川鉄道「郡上八幡駅」より徒歩約20分



洋風建築の旧役場。板張りや窓形状などがモダンな意匠。小屋組は当時最新のトラス工法。

◀モダンな意匠の窓と庇

美濃

関

### ● 旧今井家住宅・美濃史料館

美濃市指定文化財

美濃市泉町1883 / 長良川鉄道「美濃市駅」より徒歩約15分

江戸時代中期に建てられ紙間屋を営んでいた。美濃市最大規模を誇る商家。防火壁の「うだつ」を備えた中2階の造り。

▼最も古いうだつ軒飾りの形式



## 郡上街道

→ 鶉沼宿

## 御船街道

長良川で捕れた鮎を鮎鮓に加工し、江戸まで運んだ岐阜街道のことを通称「御船街道」と呼んだ。

### ● 杉山家住宅主屋

国登録有形文化財

羽島郡笠松町下本町63 /

名鉄「笠松駅」より徒歩約15分

濃尾地震直後に建築された質実剛健な町家造り。出桁造りが当時の豪商の姿を今に残している。



▲2階外壁を漆喰で塗込めた出桁造り

郡上

歴

都

県都

水都

陶都

舞都

古都

路



### ● 旧太田脇本陣林家住宅 国指定重要文化財

美濃加茂市太田本町3-3-34 / JR「美濃太田駅」より徒歩約15分



▲うだつ

江戸時代後期に建築。格子戸と連子窓、屋根の両端に「うだつ」を持ち、大規模商家の屋敷構えを伝える数少ない貴重な遺構。

### ● 旧太田宿本陣門 美濃加茂市指定有形文化財

美濃加茂市太田本町3丁目4-12 /

JR「美濃太田駅」より徒歩約15分



皇女和宮が降嫁した際建造された門。一間の薬医門で、両袖に半間の塀がつく。格式のある端正な造り。

### ● 加藤家

下呂市金山町下原町188 /

JR「飛騨金山駅」より徒歩約15分



明治3年建設、大正末期まで生糸とお茶問屋を営む商家。下原ダム湖に面した土蔵造りの建物。

### 益田街道

高山への街道。飛騨の匠が都に向かうために使われた道が起源。戦国期の金森氏が整備をはじめた。

### ● 大黒屋旅館 国登録有形文化財

瑞浪市日吉町 7905-1 / 中央自動車道「瑞浪IC」より車で約20分



▲うだつ

尾州藩の指定宿として使われた。本うだつ、玄閤門、式台、上段の間などが往時のまま残り、現在も旅館として使われている。



木曽川

伏見宿

御嶽宿

中山道

細久手宿

←加納宿

鶉沼宿

太田宿



### ● 中山道御嶽宿商家竹屋 御嵩町指定有形文化財



可児郡御嵩町御嵩1406番地(中山道みたけ館隣) / 名鉄「御嵩駅」より徒歩約3分

主屋は明治初期頃の建築。商家として使用され、現在でも江戸時代の建築様式を色濃く残す。

### ● 旧武藤家住宅(中山道鶉沼宿町屋館)



▲装飾的に仕上げた持ち送り

国登録有形文化財

各務原市鶉沼西町1丁目116番地3 /

JR「鶉沼駅」より徒歩約20分

江戸時代の旅籠の特色を残し明治末に再建された建物。天井の低い屋根裏部屋(しつ)を持ち、格子戸、通り土間などを残している。

### 下街道

中山道と名古屋城を結んだ脇往還。江戸時代には中山道の宿場保護のため荷物と公人の通行は禁じられた。



## ● 旧森川訓行家住宅(丸森)

国登録有形文化財

瑞浪市大湫町445番地の2  
中央自動車道「瑞浪 IC」より車で約20分



江戸時代末期の建物とされる。旅籠・商家の雰囲気を残している。建具類を含めてよく保存されており観光案内所等として活用される。

## ● 中山道ひし屋資料館 恵那市指定文化財

恵那市大井町60-1 / JR「恵那駅」より徒歩約10分



「ひし屋」は大井宿の商家。大規模で質の良い近世的町家建築。現在は改修・復元のうえ、町家体験施設となっている。

## ● 馬籠宿

中央自動車道「中津川IC」より車で約20分



道は坂道で、それに貼り付く町家の敷地背後は石垣が築かれるなど独特。大火があり建物は再建されたものだが、石畳や枡形、水路などは当時のもの。

馬籠宿

落合宿

中津川宿

## ● 落合宿本陣 国史跡

中津川市落合上840-1 / 中央自動車道「中津川IC」より車で約15分



現存する中山道本陣の中でも往時の姿を留めている貴重なもの。本陣建築の特徴である門構や式台付の玄関、上段の間、小姓の間などが残る。

大井宿

大湫宿

土岐川

## ● 岩村街道

岩村藩が主に利用した道で、生活物資や生産した米、織物などを各地へ運んだ。

岩村

## ● はざま酒造



中津川市本町4-1-51 /  
JR「中津川駅」より徒歩約15分



▲連立するうだつ

江戸から大正にかけて建てられた酒蔵、店舗などが4ヶ所の「うだつ」とともに街道沿いに連なる。

## ● 曾我家住宅 中津川市指定有形文化財

中津川市本町2丁目6番44号 /  
JR「中津川駅」より徒歩約10分



江戸時代は旅籠として、明治中期以降は医院として使われた。建物の「うだつ」や庭園が特徴。

## ● 岩村町岩村本通り 伝統的建造物群保存地区

恵那市岩村町本町 2 丁目および本町 3 丁目全域  
明知鉄道「岩村駅」より徒歩約 20 分



城下町として栄えた町並みは、重要伝統的建造物群保存地区に選定。地区内には町家も残り、往時の暮らし向きがうかがえる。

歴

都

県都

水都

陶都

舞都

古都

路

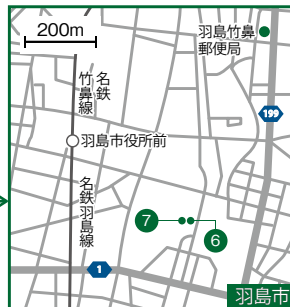
## 県 都

P5-8

- 岐阜駅 名古屋駅よりJRで約20分
- 岐阜市役所 JR岐阜駅より徒歩30分



P7掲載地図



- 1 旧岐阜県庁舎
- 2 旧日下部合資会社
- 3 じゅうろくてつめいギャラリー
- 4 名和昆虫博物館／記念昆虫館
- 5 岐阜市歴史博物館
- 6 羽島市庁舎
- 7 羽島市勤労青少年ホーム

- 8 川原町の町並
- 9 正法寺
- 10 岡本邸
- 11 益屋町通り
- 12 伊奈波神社参道の町並
- 13 御詣街道の町並

## 水 都

P9-12

- 大垣駅 名古屋駅よりJRで約35分



- 1 水門川の川湊・船町港跡
- 2 杭瀬川の川湊・赤坂港跡
- 3 金蝶園総本家 本店
- 4 樋谷本店
- 5 三輪酒造酒蔵
- 6 三甲テキスタイル(株)





- 7 大垣市釜笛の水屋群
- 8 輪中生活館 (旧名和邸)
- 9 輪中の農家 (木曾三川公園内)
- 10 イビデン (株) 東横山発電所
- 11 旧八百津発電所資料館
- 12 長良川水力発電所



## 陶都

P13-14

■多治見駅 名古屋駅よりJRで約40分  
■土岐市駅 名古屋駅よりJRで約45分



- 1 元屋敷陶器窯跡
- 2 幸兵衛窯
- 3 玉山窯
- 4 蔵珍窯
- 5 櫻堂薬師の灯籠
- 6 多治見輸出陶磁器完成協同組合
- 7 虎渓山 永保寺
- 8 神言修道会 多治見修道院

## 舞 都

P15-16

■中津川駅  
名古屋駅よりJRで約1時間15分



■北方真桑駅 大垣駅より樽見鉄道で約20分  
■学ヶ瀬駅 名鉄岐阜駅より名鉄で約30分

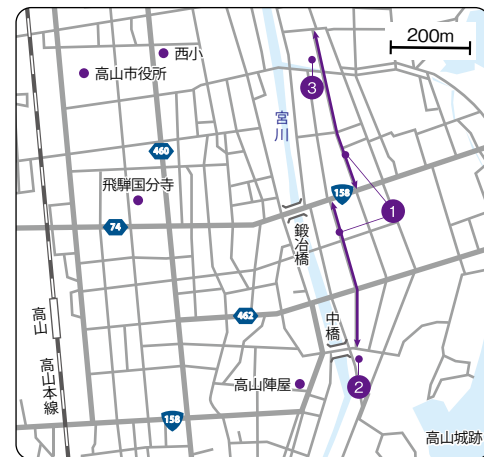


- ① 鳳凰座
- ② 門和佐の舞台「白雲座」
- ③ 常盤座
- ④ 加子母の農村舞台「明治座」
- ⑤ 各務の舞台「村国座」
- ⑥ 真桑の人形舞台

## 古 都

P17-18

■高山駅  
名古屋駅からJR 特急で約2時間30分  
富山駅からJR 特急で約1時間30分



- ① 高山の古い町並
- ② 洲さき
- ③ 日下部民藝館

■ 飛騨古川駅 名古屋駅からJR 特急で約2時間45分  
富山駅からJR 特急で約1時間15分



- ④ 安国寺
- ⑤ 古川の古い町並
- ⑥ 白川郷

## アクセス





【発行】岐阜県 建築指導課

〒500-8570 岐阜市藪田南2丁目1番1号

TEL:058-272-1111 (代表)

【協力】公益社団法人 岐阜県建築士会

2016年11月発行



清流の国ぎふ



ぎふ歴都路たび

検索